



JCS Rainbow Project

JCS レインボープロジェクト グローバル若者育成プログラム 2019

東日本大震災復興支援特別プロジェクト



グローバル若者育成プログラム

日本・シドニー両方で必須

①復興課題の取り組み



被災地を担う
グローバル若者育成

シドニーで1つ以上参加

②インターシッ
プ

③ボラン
ティア

④DOEチャ
レンジ

2019レインボーステイプログラム概要



JCS Rainbow Project

| | |
|----------------|---|
| 実施期間 (支援期間) | 準備～活動報告まで:約6か月～ シドニー滞在:2019年3月～11月の最大2か月間 |
| シドニー滞在先 | 到着後～2週間:シドニー市内のボランティアホームステイ家庭 3週間目～帰国まで:シェアハウス等にて自活を目指す |
| 航空会社 | 日本航空、全日空、カンタス航空 |
| 支援費用 | 成田空港または羽田空港と、シドニー空港間の往復航空券 および2か月間の滞在費用 (食費を除く宿泊費, 2週間ホームステイ中の食費, 現地交通費の一部) |
| 参加条件 | 東日本大震災被災児である証明書を持つ20歳～26歳(出発時) |
| 集合場所 | シドニー空港またはシドニー市内 |
| 添乗員 | 無 |
| プログラム | 1. カテゴリー①:日豪両方で実践できる同一テーマの地域復興企画案の策定と実践 2. カテゴリー②～④の1つ以上に参加 3. シドニーホームステイ中に各種会合, アクティビティ参加 ※上記3つのプログラム <u>全て</u> を行い、指定期日までに活動報告書を提出すること |

カテゴリー①: 地域復興課題の取り組み



JCS Rainbow Project

日豪双方で実践できる同一テーマの地域復興企画案の策定と実践

あなたの故郷・地元を復興させるための課題は何ですか？

その課題を解決するにはどうしたらよいでしょう？

シドニー滞在でヒントを得る、アピールする、地元と比較する...etc

シドニー滞在で得たことを、日本国内でどう活かすか？

あなた自身のアイデアで企画案を作り応募してみましよう。

以下、参考プログラム

- 地域創生の政策アイデア募集

- 地元の地域経済をインバウンド観光産業で元気にする
- 地域への海外からの移住者を〇〇で増やす
- 地域の伝統〇〇をベースに海外向けに新たな〇〇産業を生み出す

- 国連のSDGs課題への取り組み案(アイセックインターン, トビタテ留学等)

✓ シドニーでの実践の事例: 市場調査, 宣伝, ワークショップ開催等

✓ 日本での実践の事例: シドニーとの対比からわかった問題提起・施策の実施等

カテゴリー②: インターンシップ



JCS Rainbow Project

シドニー現地企業・大学にてインターンシップを経験することにより国際ビジネス感覚を身につける。

- 地元大学・企業等〈要スポンサーシップビザ〉
- 日系企業〈要スポンサーシップビザ〉
海外で活躍する日本人との出会いも勉強になる。
- 日系非営利団体〈観光ビザ〉
 - クレアシドニー(一般財団法人自治体国際化協会)
※学生限定。大学または大学指導教官からの推薦状が必須



カテゴリー③: ボランティア

海外では日常的に行われているボランティアを経験し、
JCSレインボープロジェクトの活動を理解する。

- ファンドレイジングイベント企画書の提出と実践<該当ビザ保持者>(募金はレインボーへ寄付)
- JCSレインボープロジェクト各種イベントのボランティア
- クロウズネストセンター(ノースシドニーカウンシル管轄)
 1. リネンサービス(高齢者宅のベッドメイキング)
 2. 高齢者宅への食品配達
 3. センター来訪者へのお茶出し、イベントのお手伝いなどのレセプション業務
- Landcare (Willoughbyカウンシル) <https://landcareaustralia.org.au/> <観光ビザ可能>
 - 短期間はBuch Careなど限定的
- 児童・幼児のボランティア <NSW州Working With Children Check必須>



カテゴリー④: 英国エジンバラ公国際アワード

英国エジンバラ公国際アワード(DOE) へのチャレンジを 希望する場合はアレンジ<予定>

(Max A\$1,000まで費用負担) <http://www.intaward.jp/>

- 特に, 日本では取り組みが困難なアドベンチャラスジャーニーカテゴリーへの参加
- DOEリストのボランティア参加
(ただし, DOEリスト受入先毎にビザ種の確認は必要)

ブロンズ認定に必要な活動

| サービス (ボランティア) | スキル | フィジカル・ レクリエーション | アドベンチャラス・ ジャーニー |
|--------------------------|------------------------|--------------------|----------------------|
| 他者そしてコミュニティに奉仕することの価値を理解 | 個人の興味、創造性、実用的スキルの成長を奨励 | スポーツ等で健康とフィットネスの向上 | グループで旅に出ることで冒険や発見の精神 |



募集対象者

★応募条件

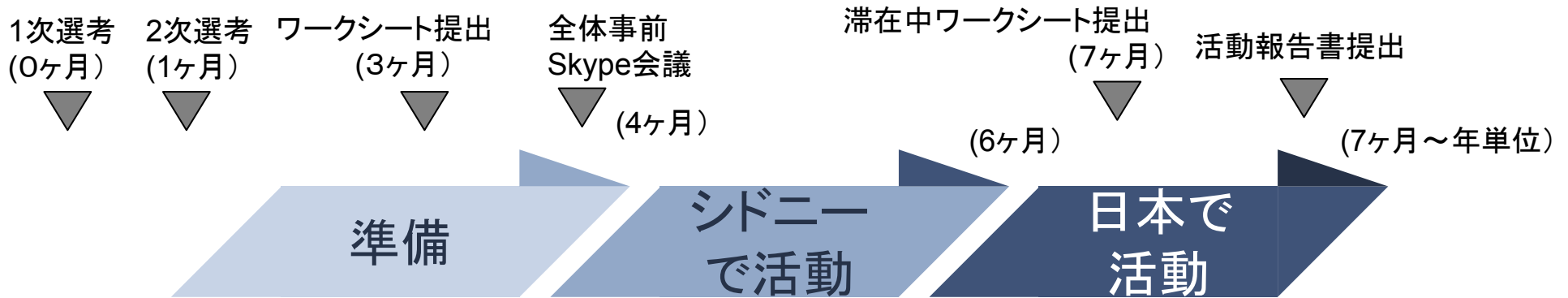
1. 東日本大震災被災児である証明書を持つ20歳～26歳(出発時)
グローバルな視点を持ち、将来の地域復興に向け貢献意志の高い若者。
2. カテゴリー①: 日本・シドニー両方で実践できる同一テーマの地域復興企画案の策定と実践
3. オーストラリアで、以下のカテゴリー②～④のいずれか1つ以上に参加できること
※条件付きビザが必要な場合があります。(要相談)
カテゴリー②: インターンシップ
カテゴリー③: ボランティア
カテゴリー④: 英国エジンバラ公国際アワード

★選考プロセス

1. 一次選考: Online応募フォームに必要事項記載 (出発希望時期の4か月前まで)
提出書類(PDF, JPEG等)
 - 東日本大震災被災児であることを証明できる書類
 - 英語資格証明書
 - アンケート
 - カテゴリー①: 地域復興企画案(日本・シドニー両方の実践を含むこと)
 - カテゴリー②～④の希望案
 - 応募動機作文
2. 二次選考: インタビュー(SkypeまたはLINE電話、東京での面接等): (出発の3か月前まで)
※選考結果は個別にご連絡します。
※該当者がいない場合は、募集・選考期間を延長する場合があります。出発時期は個別相談。



スケジュールの目安



1. 応募時の企画案に基づき、計画の具体化(事前ワークシート活用と進捗報告)
 - a. 地域復興企画案
 - b. インターシップ、ボランティア等の交渉や準備
 - c. 帰国後の英語目標設定
 - d. a,b,cの目標設定
 - e. 隔週で進捗報告と確認
2. 日々の英語4技能向上
 - a. 帰国後の各種検定の申込(英検・TOEIC・TOEFL等)
 - b. 日々の学習(NHK講座・英語記事等)
 - c. Skype英語無料レッスン
3. 全体事前Skype会議

- 計画の実施(目標達成)
1. 地域復興企画案
 2. インターシップ、ボランティア等
 3. 進捗状況報告(毎週)

1. シドニー活動報告
 - a. 滞在中ワークシート提出
 - b. 感想シート提出
 - c. 英語検定受験と結果報告
2. 日本での活動実施
※シドニー出発前後いずれでも可
3. 全体の活動報告のまとめ(各種調査結果・活動内容・地域復興に関する課題提言・今後の取り組み・スケジュール等)



費用負担

このプロジェクトは、シドニー日本クラブレインボープロジェクト(以下、JCSレインボープロジェクトといいます)が主催のもと、留学費用を負担をし、参加者募集をするものであり、参加者はJCSレインボープロジェクトと参加規約を締結することになります。

★JCSレインボープロジェクトが負担する費用

- 往復航空券
- オーストラリアのETASビザ取得費用
- 到着直後から2週間:ホームステイ中の朝夕食事・宿泊・公共交通費補助(A\$40)
- 3週間目～:宿泊(～A\$200/週)＋公共交通費(A\$40-50/週)
公共交通費は貸出Opalカードチャージのみに使用。帰国時に残金およびOpalカードは返却

★参加者が負担する費用

- パスポート取得費用
- 自宅から出発・到着空港までの往復交通費
- 海外旅行保険
- 到着直後から2週間:朝夕以外の食費
- 3週間目～:宿泊代以外の生活費
- オーストラリア運転免許証, フォトカード
- レンタカー、自動車保険、ガソリン代
運転は自己責任でお願いします。
また、学生は運転免許取得および運転は不可とします。
- お小遣い等
- 条件付きビザとETASとの取得費用差額分
- オーストラリア政府の各種認証費用

スタッフサポート(コーディネーター)

- 宿泊先探しのサポート
- カテゴリー②～④インターン先等探しのサポート(ビザによっては出発前)
- 参加者のプログラム遂行状況のチェック(頻度:週1)とアドバイス
- 生活全般の相談とアドバイス
- ご家族への参加者のプログラム遂行状況の共有(頻度:週1)
- 日本国内での実践活動についての相談とアドバイス(希望制)
毎週相談・サポート、帰国1カ月後にSkypeミーティングetc



留意事項

正当な理由なく、プログラム不履行の場合は、JCSレインボープロジェクトが負担する費用を全額返還いただきます。

また、プログラムには以下を含みます。

1. Skype英語無料レッスン受講(出発1か月前～) ※英語レベルによる
2. カテゴリー①は、企画案に記載された日本での実施事項も実践し、状況を報告すること
3. カテゴリー②～④は、インターン先等プログラムへの申し込みを行うこと
4. シドニー滞在中は、プログラムの進捗状況の報告を行うこと(頻度:週1)
5. 宿泊を伴う移動の場合または宿泊先変更時には、事前に連絡し、宿泊地を報告すること
6. 滞在中の運転は、費用面を含め全て自己責任。また、学生は運転不可
7. 事前事後のワークシートの提出をすること
8. 日豪両方の活動結果を盛り込んだ最終活動報告書を提出すること
9. 出発前後の自分の思いや感じたことのアンケートを提出すること
10. 事前に英語の目標設定を行い、帰国後の効果確認(TOEIC、英検等)を行うこと

Q&A ①



JCS Rainbow Project

Q. 出発までに、満20歳に達している必要がありますか。または、申し込み時に達している必要があるのでしょうか。

A. 出発時点で、対象年齢であれば応募が可能です。

Q. 被災地出身ですが、罹災証明書は持っていません。応募はできないのでしょうか。

A. 東日本大震災被災児であることを示す書類・書面の提出について

2011年3月11日に被災地に居住していたことを証明できる、以下のいずれかの書類を添付ください。

罹災証明書 / 被災証明書 / 届出避難場所証明書 / 住民票 / 住民票記載事項証明 / 卒業証明書 / 在学証明書・在籍証明書

※「あしなが育英会東日本大震災遺児・孤児」は、これらの証明書は不要ですので、その旨を記載した書面(様式自由)を添付ください。

Q. 応募締切はいつですか。

A. 現在、2019年3月～11月滞在希望者を募集中です。出発までに様々な準備が必要ですので、出発希望の4ヶ月前までには、ご応募ください。

例: 春休みに参加希望の場合、2018年11月中に応募

Q. 英検の合格書が手元にありません。応募できませんか？

A. 以下を書いた書面(画像, PDF等)を添付して応募してください。

- 英語資格証明書の名称, 取得レベル, 取得時期の記載
- 英語資格証明書を提出できる時期(例: 4月初旬)

Q. 英語のスピーキングに自信がありません。

A. 出発前にskype英語レッスンをアレンジ可能です。また、事前にNHKラジオ講座・テレビ講座などを利用して毎日少しずつ英語4技能に触れましょう。

Q. シドニー滞在2ヶ月間で英語は話せるようになりますか？

A. シドニーでは、英語「を」学ぶのではなく、英語「で」活動していきます。主体的に活動していくことで、英語でコミュニケーションする機会・人脈は広がっていきますので、出発前に、15分でも良いので毎日英語に触れるようにしましょう。

話せるようになるためには、Reading, Listening, Writingの向上も欠かせません。

Q&A ②



JCS Rainbow Project

Q. 地域復興課題は、日本とシドニーで、別の課題に取り組むのですか？

A. 共通テーマをPDCAを回して実践することをイメージしてください。

×日本で企画案Aを実践+シドニーで企画案Bを実践

◎日本で企画案Aを実践し、そこで得た反省点とシドニーという特性を考慮した企画案A'をシドニーで実践)

Q. シドニーへ出発の何カ月前に応募すべきでしょうか？

A. 2次選考合格後から出発までに、具体的な活動計画の策定、目標設定、英語4技能の向上等を行いますので、最低3か月を目安としてください。また、様々な海外渡航準備のために、出発1カ月前位から、心身共に余裕を持ちたいという方は、更に1か月をプラスして、4カ月程度を目安としてください。2カ月の滞在は長いようであつという間ですので、滞在中に充実した毎日を過ごせるよう、出発前の入念な準備が重要です。

Q. 日本での活動は、学業・仕事と両立しながら可能でしょうか？

A. 出発前の準備期間から、帰国後の活動を見据えて、大まかな実行計画を立てる。シドニー滞在中に、日本での活動準備交渉を行う。平日夜等の隙間時間を使って実行計画を策定し、休日に実行等、様々なやり方があると思います。

応募から日本での活動を盛り込んだ活動報告書の提出まで、約7カ月程度はかかります。

また、地域復興課題は短期的に結果が出るとは限らず、JCSレインボープロジェクトへの活動報告書を提出後も、年単位・ライフワークになることもあり得ると考えています。